

# 報告 企業&環境プロジェクト 仙台版環境ISOの実施に向けて

11月13日(水)フォレスト仙台5F501会議室において MELON 企業&環境プロジェクトの企画により"仙台版環境 ISO「みちのくエコステージ(仮称)」を学ぶ懇談会"を行いました。「みちのくエコステージ(仮称)」とは、企業の環境配慮型行動の国際認証基準である ISO14001 を仙台市が中小企業向けにアレンジし、より安価で簡単に取得できる基準を目指して 2003 年度中の実現を目指しているものです。

当日は仙台市環境局環境部環境都市推進課の村山課長をお迎えし、「みちのくエコステージ(仮称)」の概要や計画されるに至った背景をご説明いただきました。その後、出席者の皆様からの質疑応答の時間を設けると、活発で鋭い質問が数多くなされました。

内容的には、簡略化しながらもできる限り ISO14001 と整合性を持たせるよう調整中で、詳細はまだ決定していないとのことでした。そういう時期に企業や一般の方々からの質問や要望が直接担当者の耳に届いたという意味では、非常に意義のあるイベントであったと思われます。



## ストップ温暖化センターみやぎ「通信」⑫

今年 2003 年は京都議定書発効の年になりそうです。早くから様々な取り組みが始まっているところほど、2008 年～2012 年の削減義務達成に早く近づけるのではないかと思います。

### ～県内の動き～

仙台市では、市民一人あたりの排出量を 7%削減するという目標を掲げています。その中で「仙台市地球温暖化対策地域協議会」では、地域のグループで省エネナビを付ける、町内会等で地球温暖化問題についての理解を深め、まず意識してもらいその後出前講座をする、などの取り組みがはじめられているようです。

MELON も環境家計簿や地球温暖化問題についての学習ソフト、ワットアワーメーター、省エネナビ等の取り組み等のノウハウを提供して、より実効性のある取り組み作りを支援していきたいと思えます。

宮城県でも「脱・二酸化炭素連邦みやぎ」の宣言をする予定となっています。具体的には、温泉街と商店街のモデル地区を選定して CO<sub>2</sub> 排出量を推計し、削減を図る試みを行うということです。また「宮城県地球温暖化対策地域協議会準備会」で、環境省モデル事業の IT 技術利用エコドライブ診断事業(燃費、走行距離、アイドリング時間などの自家用車の運転状況が、メールで毎日届けられ、自分の運転状況がチェックできるというもの)も行い、交通関係

の対策の基礎データを集積するとともに、エコドライブを推進するという事業も現在、ストップ温暖化センターみやぎが中心となり行なわれています。

「仙台市地球温暖化対策地域協議会」、「宮城県地球温暖化対策地域協議会準備会議」に MELON から委員として参加しています。皆さんの声を伝えたいと思います。是非お寄せください。



2月1日(土)に宮城県民会館でバイオマスエネルギー情報交換会「どう活かす?みやぎの森林資源～エネルギーの観点から～」が行なわれました。内容の報告は次回お伝えします。